



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月27日

上場会社名 伊勢化学工業株式会社

コード番号 4107 URL <http://www.isechem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員

(氏名) 藤野 隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部長

(氏名) 小林 正昭

TEL 03-3242-0520

四半期報告書提出予定日 平成28年8月4日

配当支払開始予定日

平成28年9月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	7,471	△18.8	691	△44.0	683	△44.9	436	△43.1
27年12月期第2四半期	9,205	10.3	1,233	△28.3	1,240	△28.2	766	△25.2

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 △58百万円 (—%) 27年12月期第2四半期 831百万円 (△8.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	17.09	—
27年12月期第2四半期	30.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	28,358		23,643			83.4
27年12月期	29,054		23,933			82.4

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 23,643百万円 27年12月期 23,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	9.00	—	9.00	18.00	
28年12月期	—	8.00	—	—	—	
28年12月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00	

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	△18.3	1,000	△57.0	1,000	△57.1	550	△58.3	21.56

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年12月期2Q	25,675,675 株	27年12月期	25,675,675 株
② 期末自己株式数	159,818 株	27年12月期	156,842 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25,517,232 株	27年12月期2Q	25,522,270 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2016年1月1日～2016年6月30日)における当社グループをとり巻く環境は、国内では緩やかに続いてきた景気回復の停滞、米国及び新興国では経済の成長鈍化が懸念されるなか、英国の欧州連合離脱決定により事業環境の不透明感が強まりました。

このような状況におきまして、当社グループの業績内容は、ヨウ素・金属の国際市況の下落や為替円高の影響を受け、売上高、利益共に前年同期を下回る水準となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は74億7千1百万円(前年同期比18.8%減)、営業利益は6億9千1百万円(前年同期比44.0%減)、経常利益は6億8千3百万円(前年同期比44.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億3千6百万円(前年同期比43.1%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[ヨウ素及び天然ガス事業]

ヨウ素及び天然ガス事業では、主力のヨウ素製品の販売価格下落に加え、為替円高の影響もあり、売上高は前年同期を下回りました。ヨウ素価格下落の影響を吸収するべく、引き続き生産性の改善に努めましたが、利益面でも前年同期を下回りました。

この結果、売上高は66億9千9百万円(前年同期比18.9%減)、営業利益は7億8百万円(前年同期比42.6%減)となりました。

[金属化合物事業]

金属化合物事業では、販売数量は堅調に推移したものの、金属相場下落による影響を受け、売上高は前年同期を下回り、営業損失は前年同期より増加いたしました。

この結果、売上高は7億7千1百万円(前年同期比18.7%減)、営業損失は前年同期に比べ1千5百万円増加し1千7百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間から、セグメント利益又は損失の把握方法を変更しております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等) II 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して6億9千5百万円減少の283億5千8百万円となりました。これは主に、固定資産が減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して4億6百万円減少の47億1千4百万円となりました。これは主に、未払金及び買掛金が減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して2億8千9百万円減少の236億4千3百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末残高に比べ2千5百万円増加し、85億2千2百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により得られた資金は、12億7千7百万円(前年同期は18億2千8百万円)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により使用した資金は、7億9千7百万円(前年同期は10億9千万円)となりました。これは主に、ヨウ素及び天然ガス事業の設備投資に伴う支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により使用した資金は、2億3千6百万円(前年同期は2億3千8百万円)となりました。これは主に、配当金の支払等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期第2四半期連結累計期間の業績は、ヨウ素・金属の国際市況の下落や為替円高の影響を受け、売上高、利益共に当初想定を下回りました。

平成28年12月期通期の業績予想についても、ヨウ素・金属の国際市況の低迷が続いていること、また、為替相場が円高で推移していること等により、売上高、利益共に当初予想を下回る見込みとなりました。

通期の連結業績予想の売上高は145億円(当初予想比25億円(14.7%)減)、営業利益は10億円(当初予想比10億円(50.0%)減)、経常利益は10億円(当初予想比10億円(50.0%)減)、親会社株主に帰属する当期純利益は5億5千万円(当初予想比6億5千万円(54.2%)減)を見込んでおります。

本日、通期連結業績予想を修正し、「平成28年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を開示いたしましたのでご参照ください。

なお、当該業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、需要動向の変化等多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は種々の要素により現時点での予想と乖離する可能性がありますのでご承知おきください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(原価差異の繰延処理)

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債として繰り延べております。

(税金費用の計算)

税金費用については、第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2013年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 2013年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 2013年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

なお、上記表示変更以外の改正後の会計基準等の適用による四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

(税金費用の計算方法の変更)

従来、税金費用については、原則的な方法により計算しておりましたが、当社グループの四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,656	2,678
受取手形及び売掛金	4,071	4,115
商品及び製品	2,749	2,848
仕掛品	334	258
原材料及び貯蔵品	809	613
短期貸付金	5,839	5,843
その他	176	243
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	16,636	16,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,655	3,499
機械装置及び運搬具（純額）	4,726	4,105
土地	1,708	1,707
建設仮勘定	487	705
その他（純額）	271	244
有形固定資産合計	10,848	10,263
無形固定資産		
その他	407	359
無形固定資産合計	407	359
投資その他の資産		
投資有価証券	636	616
繰延税金資産	285	293
その他	239	227
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,162	1,136
固定資産合計	12,418	11,758
資産合計	29,054	28,358

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,338	1,191
短期借入金	600	600
未払金	1,219	621
未払法人税等	194	286
賞与引当金	136	131
役員賞与引当金	7	3
その他	320	609
流動負債合計	3,817	3,444
固定負債		
退職給付に係る負債	728	731
役員退職慰労引当金	33	11
環境対策引当金	250	250
資産除去債務	172	160
その他	118	116
固定負債合計	1,302	1,269
負債合計	5,120	4,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,599	3,599
資本剰余金	3,931	3,931
利益剰余金	16,412	16,619
自己株式	△106	△107
株主資本合計	23,838	24,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	△4
為替換算調整勘定	183	△311
退職給付に係る調整累計額	△97	△83
その他の包括利益累計額合計	95	△399
純資産合計	23,933	23,643
負債純資産合計	29,054	28,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
売上高	9,205	7,471
売上原価	7,228	6,020
売上総利益	1,976	1,450
販売費及び一般管理費	743	759
営業利益	1,233	691
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	0	0
受取手数料	3	—
その他	1	0
営業外収益合計	11	7
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	1	0
為替差損	1	14
営業外費用合計	3	16
経常利益	1,240	683
特別損失		
固定資産除却損	7	3
災害による損失	—	5
その他	—	0
特別損失合計	7	9
税金等調整前四半期純利益	1,233	673
法人税等	466	237
四半期純利益	766	436
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	766	436

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
四半期純利益	766	436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	△14
為替換算調整勘定	53	△494
退職給付に係る調整額	1	14
その他の包括利益合計	65	△494
四半期包括利益	831	△58
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	831	△58
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,233	673
減価償却費	831	841
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△25	14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5	△5
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6	△3
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△24	△22
受取利息及び受取配当金	△7	△7
支払利息	0	0
持分法による投資損益 (△は益)	1	0
固定資産除却損	7	3
売上債権の増減額 (△は増加)	242	△72
たな卸資産の増減額 (△は増加)	180	93
仕入債務の増減額 (△は減少)	△140	△336
その他	154	246
小計	2,441	1,425
利息及び配当金の受取額	7	7
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△672	△178
法人税等の還付額	52	24
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,828	1,277
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,083	△790
その他	△7	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,090	△797
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△229	△229
その他	△8	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△238	△236
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	△217
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	519	25
現金及び現金同等物の期首残高	6,763	8,496
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,283	8,522

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2015年1月1日至2015年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ヨウ素及び 天然ガス事業	金属化合物 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,256	948	9,205	—	9,205
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	(—)	—
計	8,256	948	9,205	(—)	9,205
セグメント利益又は損失(△)	1,235	△1	1,233	—	1,233

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2016年1月1日至2016年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ヨウ素及び 天然ガス事業	金属化合物 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,699	771	7,471	—	7,471
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	(—)	—
計	6,699	771	7,471	(—)	7,471
セグメント利益又は損失(△)	708	△17	691	—	691

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

セグメント利益又は損失について、第1四半期連結会計期間より、従来は調整額に表示していた全社費用について、各報告セグメントのセグメント利益又は損失に含めております。これは、内部管理上のセグメント利益把握方法の統一に伴うものであります。

前第2四半期連結累計期間の報告セグメントの業績は、変更後のセグメント利益又は損失の把握方法に基づき組替えて表示しております。